

## 第2回校名検討委員会 会議結果

日時：平成21年4月7日（火）19:00～20:30

場所：多摩市役所第二庁舎会議室

出席委員：13名

### 1 確認事項

#### (1) 前回の会議結果に関する報告

##### ア 自治会の委員について

第1回校名検討委員会の結果のとおり「豊ヶ丘1丁目自治会」に参加の依頼を行ったが、当該会長から委員としての参加を見送るとの話になった。

##### イ 管理組合について

第1回校名検討委員会の結果のとおり、4小通学区域内にある管理組合に情報提供を行った。当初、青陵中を会場に情報提供を試みたが参加者がなく、後日郵送により、文書を送付した。

##### ウ 会議結果について

地域の歴史の部分について、講話の内容の抜粋を盛り込んだものを、多摩市公式ホームページに掲載する議事録とする。

#### (2) 公募に関する報告事項

##### ア 校名案の募集について

第1回校名検討委員会の結果に基づき、3月17日から31日まで校名案を募集する。その際、参考資料として「地名・校名の由来について」をあわせて配布する。

### 2 期間中に応募のあった校名案について

複数応募のあった校名案について、1枚にまとめている。1件の応募のように具体的な状況は、「分類別」「応募方法別」を参照いただきたい。なお、いたずらと思われるものなどは応募総数の73件からは除いた。

### 3 校名案の選定について

- 今回の校名検討委員会でアンケート調査を行うかどうかを決めることとしていたが、大多数の委員の意見からアンケート調査は行わず、この委員会で選考していくこととした。
- また、次のような意見等が委員から出された。
  - 統合新校の校名には、「貝取」「豊ヶ丘」の地名そのものを残して欲しい
  - 周知がなされ、公的なものとして校名案募集をした結果は尊重すべきである
  - 統合新校の校名案には、比較的意見の多かった「青陵」の名を地域名に絡めて使ってはどうか
  - 「貝取」「豊ヶ丘」の学校が一緒になるので、地名を融合し、新しい学校名とする
  - 母校がなくなる寂しさはあるが、卒業生からすれば、地名が残れば現在の名称の一部が残り、母校が残っていると考えられる

以上のような議論をした結果、応募の理由及び校名検討委員会において地域名を残すべきとの意見が大多数であったこと、「貝取」「豊ヶ丘」案には他の案と比べて多数の支持があったこと、統合する4校の応募箱からも「貝取」「豊ヶ丘」とする案があり子ども達になじみのある名称であること等を理由として、校名検討委員会では、北豊ヶ丘小学校と北貝取小学校の統合新校の名称を「多摩市立豊ヶ丘小学校」とし、南豊ヶ丘小学校と南貝取小学校の統合新校の名称を「多摩市立貝取小学校」とすることとした。

なお、この結果は上部組織である統合準備委員会に報告するが、報告の内容については川村座長に一任された。